



学校だより特別号

後期 学校アンケート結果について

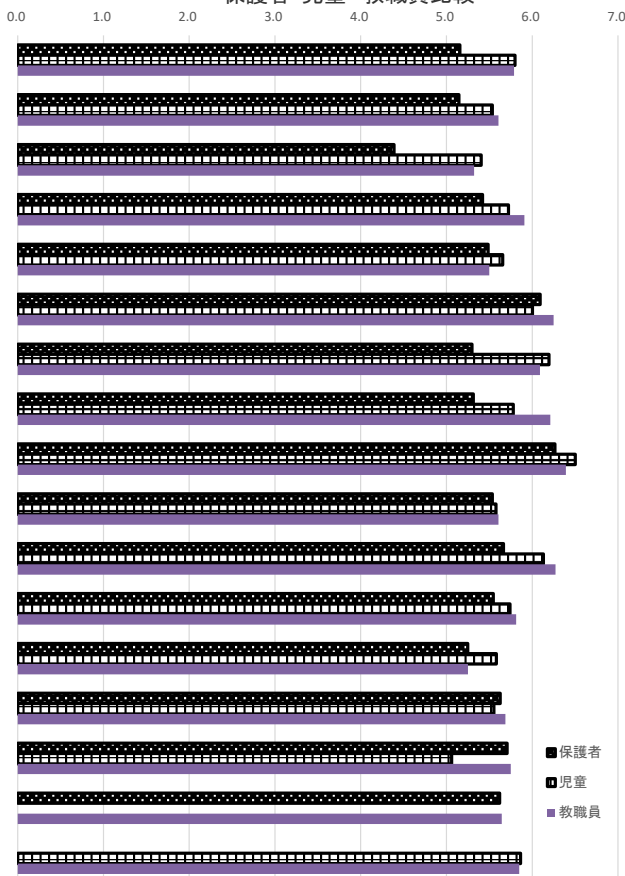
令和7年3月18日
京都府立明徳小学校
TEL:075-701-0111
FAX:075-701-0112

学校アンケートにご協力ありがとうございました。アンケートは、「確かな学力」「豊かな心」「健康な体」「開かれた学校」の4観点から実現度をおたずねしました。

保護者・児童・教職員 回答 比較

			保護者	児童	教職員
1	学	めあてをもってすすんで学習に取り組んでいる。	5.2	5.8	5.8
2	学	すすんで家庭学習に取り組んでいる。	5.1	5.5	5.6
3	学	すすんで読書をしている。	4.4	5.4	5.3
4	学	授業や家庭学習で、基礎学力が身についてきている。	5.4	5.7	5.9
5	学	授業や家庭で対話をする力が身につけてきている。	5.5	5.7	5.5
6	心	毎日楽しく学校に通っている。	6.1	6.0	6.3
7	心	すすんで挨拶をしている。	5.3	6.2	6.1
8	心	いろいろなことにチャレンジしようとしている。	5.3	5.8	6.2
9	心	友だちを大切にしている。	6.3	6.5	6.4
10	心	自分のよいところや得意なことを言える。	5.5	5.6	5.6
11	心	学校や家庭、交通のルールを守っている。	5.7	6.1	6.3
12	体	すききらいせず、バランスよく食事をしている。	5.5	5.7	5.8
13	体	外遊びなど、すすんで運動をしている。	5.2	5.6	5.3
14	体	早ね・早起き・朝ごはんをしっかり食べる等、規則正しい生活をしている。	5.6	5.6	5.7
15	開	子どものことで気になることがあれば、学年担任や学校に気軽に相談できる。	5.7	5.1	5.8
16	開	学校からのおたよりやホームページで、学校の様子がよくわかる。	5.6		5.6
17	心	あじなす目標を意識して行動している。		5.9	5.8

保護者・児童・教職員比較



アンケート結果全体を見て

後期のアンケート結果がまとまりました。ご協力ありがとうございました。本紙左下に記載しています通り、数値は「5」を超えていると概ねできていると考えられます。今回のアンケートでは、ほぼ全ての項目で「5」を超える結果となりました。また、前期と比較しても、ほぼ全ての項目でポイントが上がる結果となりました。大変嬉しいことです。

以下、今回の結果から特にお伝えしたい項目について分析をしています。今年度の明徳小学校の歩みを皆様と一緒に振り返りたいと思いますので、どうぞご覧ください。

13. 外遊びなど、すすんで運動をしている。

子どもの運動能力の低下は全国的に懸念されており、明徳校も例外ではなく、毎年春に実施している新体力テストにおいても、結果として運動能力や運動習慣の低下が表れています。これを問題視して、学校生活においても、「何が原因なのか」「何をすればいいのか」と話し合い、様々なことを試しながら進めてまいりました。今回の結果では、三者ともこの項目の数値は上がっていたのですが、特に児童については、前期よりも0.3ポイントも上がる結果となりました。

子ども達が外遊びを楽しめるようにと願っているのは、三者とも同じです。また、願いとともに、保護者の皆様におかれましては、ICT機器の積極的な活用を促す「一人1端末貸出」により、外遊びからさらに遠ざかることやICT機器を使い続けることによる健康被害の不安も抱かれているのではないのでしょうか。別紙の自由記述の分析でも取り上げましたが、ICTが身近になることによる不安を取り除く工夫は、学校がすべき努力であると考えております。例えば、子ども達の課題提出はタブレット端末による提出に偏らないよう、紙媒体の用意も併用しています。また、休み時間の校庭の様子を見ると、子ども達だけでなく、教員も走り回って一緒に遊んでいる姿が見られます。その他、運動委員会の企画など、体を動かすことにつながる工夫は積極的に取り入れられています。全校たてわり遊びでも、体を動かす遊びは必ず取り入れられています。

このような、日々の学校生活における外遊びや運動の機会も、今回の結果に関連しているとは思いますが、大きな要因と考えられるのは、地域移行した部活動です。現在、明徳校のスポーツ系部活動は、サッカー、バスケットボール、バレーボール、陸上競技の4種類があります。地域指導者の皆様のおかげで、どの部活動にもたくさんの子が参加し、運動を楽しんでいます。来年度も引き続きお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。また、前期にも呼び掛けておりました「卓球」については、要望はあるものの、未だ充足には至りません。指導していただける方などご存じに数分間、ぜひ学校までお知らせください。

4. 授業や家庭で、基礎学力が身についてきている。 5. 授業や家庭で対話をする力が身についてきている。

明徳校では、基礎学力の定着をねらった内容で、朝と昼の2回、帯時間の学習を取り入れています。内容は、国語では漢字、算数では計算のような、短い時間で集中して取り組める分野の学習が多いです。この時間で、授業中に分りにくかったところを補ったり、個別指導を行ったりすることもあります。また、家庭学習においては、児童の実態に応じた自主学習を積極的に行き入れ、児童が自分の力を認識し、目的に向かって自分で学び方を考えることをねらって取り組んでいます。児童が自分の力を認識する「メタ認知能力」は、夏の洛北中学校ブロック小中合同研修会で、中学校の課題としてあげられました。そのこともあり、今年度後半は、特に「目的に向かって」という部分に注目して進めてきました。それにより、自主学習の目的の達成という小さな積み重ねが自信となり、4の項目の数値に表れたと考えています。この項目は、三者ともに数ポイント上がりました。

また、明徳校が力を入れている「対話力」の育成についても、三者ともに数ポイント上がる結果となりました。前期で取り上げました帯時間の対話タイムも、続けることで力になっていると考えられます。また、3年生以上は教科担任制で、学年担任が教科ごとに交換授業をしたり、学年によっては専科教員が授業に入ったりしました。これにより、それぞれが担当する教科に集中して「主体的・対話的で深い学び」を目指した質の高い学習を提供しようとしたことも、ポイントが上がった要因と考えています。また、教科担任制になり、教職員は学年全員の子とも達とお互いによく理解し合えるようになりました。3年生以上にとっては、良い点が多いようです。引き続き、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

17. あじなす目標を意識して行動している。

【資料の中の数値について】
よくできている ... 「7」
だいたいできている ... 「5」
あまりできていない ... 「3」
できていない ... 「1」
回答人数をかけた総計を回答者数で割り、平均を出しています。「4」が中間値となり、「5」を超えていると概ねできていると判断してよいと考えています。

本校で常に意識している「あいさつをする」「①かんを守る」「②ふだを付ける」「③りっぱを揃える」の頭文字をとった目標が「あじなす目標」です。後期は、あいさつ運動にも児童の主体性が見られるようになりました。

来年度に向けて話し合せて、「あじなす」に加え、「名前を（さん）付けて呼ぶ」ということも目標に入れた「あじなすさん」を徹底していくことになりました。名前を丁寧に呼べば、後に続く言葉もきっと丁寧に温かくなると思います。令和7年度からは「あじなすさん」を合言葉に、教職員も一緒によい学校を作っていきたいです。

8. いろいろなことにチャレンジしようとしている。

この項目は前期でも高い数値でしたが、今回は特に教職員において0.8ポイントも上がる結果となりました。今年度の重点目標として度々登場している「少しずついい、やってみよう」への意識の表れではないかと考えています。

コロナ禍以降、世の中では外出をすることさえ勇気がいるという事象も見られ、何をすることも臆病になってしまいがちなこともありました。「できなかつたら嫌だからやらない」「間違いたくない」とつぶやく子どもも少なくありませんでした。そんな子どもにも大人は、「できなくてもいいよ」「とりあえずやってみよう」と、優しく背中を押せる存在でありたいと思います。そうして、一歩踏み出せば、きっと何か次につながります。その繰り返しで、自信がついてくるのではないのでしょうか。「10. 自分のよいところや得意なことを言える」という項目も、大きな伸びが見られました。これからも子ども達が安心していろいろなことにチャレンジできるよう、応援していきたいです。ご協力よろしくお願いいたします。